

若宮 裕 指揮

東京大学経済学部卒。指揮法を高階正光氏、黒岩英臣氏に師事。東京音楽大学にて、和声、アナリーゼ等を学ぶ。現在、東京YCN管弦楽団音楽監督(若宮主宰プロオーケストラ)、ノイフィルハーモニー管弦楽団常任指揮者、新座交響楽団指揮者等を務める。2019年、2020年および2023年、東京ドームからの依頼による「世界らん展」および「テーブルウェア・フェスティバル」におけるオーケストラコンサートを指揮。また、第一線で活躍するコンサートプレイヤーをメンバーとするオーケストラ「東京YCN管弦楽団」を組成し、チェコ共和国大使館コンサート(2016年、2023年)、ピアノコンチェルト演奏会(2022年、2024年)等を指揮。2023年、日本チェコ友好協会からの依頼によるクリスマスミサコンサートを指揮(リバ祝祭管弦楽団および同合唱団)。その他、指揮者として、東京大学音楽部管弦楽団、ほりほりオーケストラ、ニューシティオーケストラ等と共演。最近は、指揮法の指導者として後進の育成にも当たっている。



Piano Duo framboise

(ピアノ デュオ フランボワーズ)

遠藤夏季(東京音楽大学卒)と中川彩(フェリス学院大学卒)による実力派ピアノ連弾ユニット"Piano Duo framboise(ピアノ デュオ フランボワーズ)"。2015年結成。連弾をメインに東京、神奈川を中心に活動している。オーケストラにも引けをとらない重厚感のあるサウンド、プライベートでも仲の良い二人にしか奏でられない一体感のあるハーモニー、視覚をも魅了する迫力のパフォーマンス。まるで1人で弾いているかのような息の合ったダイナミックかつ繊細な演奏に注目!! 第17回大阪国際音楽コンクールピアノ連弾部門にて最高位、第5回寝屋川市アルカスピアノコンクール4手連弾グランプリ部門にてグランプリ並びに寝屋川市長賞を受賞。自主企画コンサートは延べ100回を超え、サントリーホールブルーローズ、東京オペラシティリサイタルホールなどでリサイタルを開催している。これまでに川上昌裕、樋口恵子、中澤朋子各氏に師事。日本初録音2作品を含むアルバム「Enchantée!」(販売元:徳間ジャパンコミュニケーションズ)にてメジャーデビュー。



©Eiji Yamamoto

西尾真実

(ピアノ)

大阪府出身、ピアニスト。桐朋学園大学音楽学部演奏学科を卒業後、渡露。チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院へ留学し最優秀で本科卒業、同大学院国家ディプロム修士号を取得する。その後イタリアの Talent Music Master Courses にて研鑽を積み、8年の海外留学を終えて2017年完全帰国する。これまでに第15回スクリャーピン国際コンクール第1位、第16回マリア・ユーディナ国際コンクール第1位、Musical Summer International Competition 第1位、第4回スクリャーピン国際ピアノコンクール ディプロマ、第30回霧島国際音楽祭賞、「輝くとちぎ人」など国内外で多数受賞し、2019年第45回日本シヨパン協会賞を受賞する。国内外でソロリサイタル、ソリストとして多数オーケストラと共演し、Bellevue in Concert 2016 by Steinway&Sons Italia、ディーナ・ヨッフエ来日記念Fazioli コンサート、スクリャーピン没後100年ピアノ・ソナタ全曲演奏会、シヨパン・フェスティバル 2021 in 表参道、第13回宮崎国際音楽祭、日光田母沢御用邸音楽祭、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」、テレビ朝日「題名のない音楽会」、'世界へはばたくピアニスト西尾真実'がTV放送されるなど、日本をはじめロシア・欧州各地でソリスト、室内楽奏者として多方面で演奏活動を展開している。ピアノを阿久津佐智、三浦みどり、雨田のぶ子、横山幸雄、アンドレイ・ビスサレフ、ディーナ・ヨッフエ、室内楽を徳永二男、ドミトリー・カップリン、歌曲伴奏法をエカテリーナ・ガネーリナ各氏に師事し、Mikhail Voskresensky、Michel Beroff、Elisso Virsaladze、Natalia Shakhovskaya、David Geringasの各氏から薫陶を受ける。宇都宮短期大学音楽科、同附属高等学校音楽科特別講師。とちぎ未来大使。2020年よりSony CSLピアノアカデミーにてジュニアピアニスト育成プロジェクト'Music Excellence Project'にアシスタント講師を務めるなど、若手育成にも力を注いでいる。



窪田真佑子

(ヴァイオリン)

1993年11月1日東京都豊島区生まれ。幼少期をフランス・クレルモン＝フェランにて過ごす。2歳半よりヴァイオリン、5歳よりピアノを始める。学習院女子中高等科を経て、学習院大学文学部卒業。2010年世田谷ジュニアオーケストラにてコンサートミストレスを務める。「NHKふれあいコンサート2013」にてゲストソリストとしてモーツァルトヴァイオリン協奏曲第5番を演奏する他、The Orchestra of Tokyoなどこれまでにソリストとしてオーケストラと共演多数。2017年、フランス・ティニューでのムジークアルプ夏期国際音楽アカデミーにてC.ポワジェ、S.ピカル氏に師事。これまでに、荒井友美、奥田雅代、荻野照子、徳永二男の各氏に師事。これまでに、2019年11月ティトックレコードより1st CD『treasure』をリリース。CD発売記念リサイタルを美浜文化ホールにて開催。2022年10月、クラシック曲と自身のオリジナル曲が収録された2nd CD『虹』をリリース。サントリーホールブルーローズ、名古屋、神戸にて発売記念リサイタルツアーを開催。2022年3月、音楽事務所『Tokyo Muse Production』を設立。各種コンサートやイベントにて、演奏派遣や企画を行う。2023年バーゼル国際音楽新人オーディションにて奨励賞を受賞。Miss Japan2022ファイナリスト。Coconアンサンブルシリーズ主宰。Cocon弦楽四重奏団所属。ソリストとしての活動に加え、室内楽にも意欲的に取り組み、都内を中心に全国にて幅広く演奏活動を行なっている。



前川健生

(テノール)

愛知県出身。県立時習館高等学校卒業、国立音楽大学卒業、東京学芸大学大学院音楽コース修了、二期会オペラ研修所マスタークラスを優秀賞で修了。東京音楽コンクール声楽部門第2位をはじめ、日本音楽コンクール入選、ジュディッタ・パスタ国際オペラ歌手コンクール第1位、チェコ音楽の祭典2023最優秀賞、ソレイユ声楽コンクール第1位など受賞歴多数。東京二期会オペラ劇場R.シュトラウス作曲「ダナエの愛」でデビュー。その後二期会オペラ「ジャンニ・スキッキ」リヌッチョ役、「ばらの騎士」テノール歌手役、「アルチーナ」オロンテ役、「平和の日」ピエモンテ人役、「タンホイザー」ヴァルター役で出演。アンドレア・バッティストーニ、ミシェル・ブラッソン、ベルドラン・ド・ビリー、マキシム・パスカル、アクセル・コーパー等の世界的指揮者と共演。2021年にはベルク作曲「ルル」のアルヴァ役で出演、充実した演唱により高く評価を受ける。その他、調布市民オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」トゥリッドゥ役、「カルメン」ドン・ホセ役などで出演。2020年文化庁/日本演奏連盟主催リサイタルを東京文化会館(小)で開催。宗次エンジェル基金奨励学生。二期会会員